

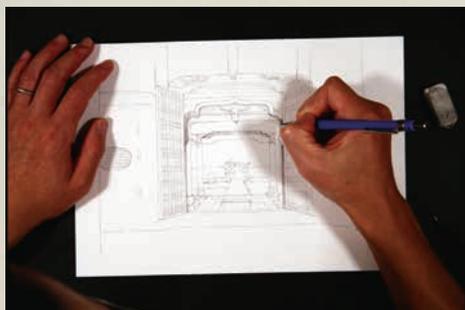
風景を、聴く

現代アートが描き、

コントラバスと

アコーディオンが奏で、

多久聖廟に響き、彩る。



出演

ヤマガミ ユキヒロ (現代美術家)

松永 誠剛 (コントラバス奏者)

吉岡 美湖 (アコーディオン奏者)

2025年 11月8日(土) 多久聖廟 廟内

昼の部 開場 13:00 開演 13:30 夕の部 開場 16:30 開演 17:00 *入れ替え制

会場 多久聖廟 廟内 *無料駐車場あり (100台)
(佐賀県多久市多久町 1843-3)

入場料 全席自由席 (各回 40席限定) ¥4,000 (消費税込)
*未就学児入場不可・小学生以上要チケット

チケットお申込みフォーム <https://form.run/@fukeiwokiku>

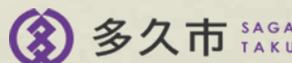


お問い合わせ info@shikiori.net

- 注意事項とお願い
- 普段、非公開の多久聖廟内部を開放して行われるイベントです。
 - 会場内では靴を脱いで、胡床 (椅子) に座っての鑑賞となります。
 - 空調設備のない空間ですので、暖かい服装でご参加ください。
 - 公演中止など、主催者がやむ得ないと判断する場合以外の払い戻しは致しません。

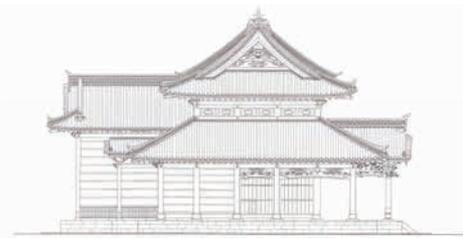
令和7年度佐賀県文化芸術祭 “LiveS Beyond II” 採択事業

共催：多久市、SHIKIORI、YAMAGAMI YUKIHIRO STUDIO 協力：佐賀県アーツコミッション



風景を聴き、音を観る。静謐な空間にアンビエントな光と音が溶け込む特別な一日。

風景を、聴く



「風景を、聴く」プロジェクトについて

創建から 300 年を超える国の重要文化財である多久聖廟。ベンガラ塗りの建物の柱や梁には壮麗な装飾があり、廟内には「聖龕（せいがん）」と呼ばれる八角形の厨子の中に孔子像が納められ、見事な龍の天井画もあります。そんな普段は非公開である多久聖廟廟内で、現代アートとコントラバス、アコーディオンによる一日限りの特別なライブパフォーマンスを開催します。

風景を聴き、音を観る。静謐な空間にアンビエントな光と音が溶け込む特別な一日をぜひご堪能ください。



ヤマガミ ユキヒロ / Yukihiro Yamagami (現代美術家)

1976 年大阪生まれ。大阪芸術大学建築学部中退。京都精華大学美術学部洋画コース卒業。日常で見慣れた風景を鉛筆などで描画した絵画に、同一視点から撮影した映像をプロジェクターによって投影する「キャンバス・プロジェクション」という絵画に光と時間を取り入る独自の手法により作品を制作。これまで、東京駅復原工事完成記念展（東京ステーションギャラリー）をはじめ、アサヒビール大山崎山荘美術館、21_21 DESIGN SIGHT、藝倉美術館【上海】、ビクトリア国立美術館【オーストラリア】など国内外での展覧会に参加。第 11 回岡本太郎現代芸術賞 特別賞受賞。Mio Photo Award 2000 優秀賞受賞。

松永 誠剛 / Seigo Matsunaga (コントラバス奏者)

コントラバス奏者 / 作曲家 / プロデューサー。1984 年、福岡生まれ。17 歳の夏をボストンの音楽院にて過ごし、その後、NY でマシュー・ギャリソン、コペンハーゲンでニールス・ペデルセンのもとで音楽を学ぶ。これまで南アフリカからインドまで世界各国で様々な音楽家との活動を続けている。Hermes Paris と Apple 社のコラボレーションを記念して開催された『Pulse of Sense』にて屋久島の森の中でコントラバスの演奏を行う。第 76 回ベネチア国際映画祭に選出された、オダギリジョー監督作『ある船頭の話』の映画音楽に参加。沢木耕太郎原作『凍』のラジオドラマの音楽を手がけるなど活動は多岐にわたる。



吉岡 美湖 / Miko Yoshioka (アコーディオン奏者)

佐賀県出身の鍵盤演奏家、作曲家。ピアノ、アコーディオンでの即興演奏や和、ケルトの楽曲を演奏している。幼少期にクラシックピアノをはじめ、10 代前半からはポピュラー音楽、作曲をはじめ。アイルランドを訪れたことをきっかけにアコーディオンと出会う。クラシックアコーディオンを木下隆也氏、Gianni Fassetta 氏、Francesco Palazzo 氏に師事。2023 年、イタリア・マテーラ国際アコーディオンフェスティバル及びバジリカータ州観光 PR 動画に出演。現在、地元・唐津市で「出会える音楽の選択肢を増やすこと」を軸にした催しの他、楽曲提供、プロデュース、九州、東京でのイベント開催も行なっている。

多久聖廟 / Takuseibyō

多久聖廟は、宝永 5 年 (1708) 多久茂文が孔子像を安置し、領民に「敬」の心を培わせるために建てた孔子廟です。現存する聖廟としては足利学校（栃木県）、閑谷学校（岡山県）に次ぐ古い建物です。建築様式は、禅宗様仏堂形式と呼ばれる我が国の代表的な建築様式ですが、彫刻や文様で中国的な雰囲気を出しています。現在は、国指定重要文化財として大切に保全されています。



会期

2025 年 11 月 8 日 (土)

昼の部 開場 13:00 開演 13:30

夕の部 開場 16:30 開演 17:00 *入れ替え制

会場

多久聖廟 廟内 (佐賀県多久市多久町 1843-3) *無料駐車場あり

入場料

全席自由席 (各回 40 席限定) ¥4,000 (消費税込)

*未就学児入場不可・小学生以上要チケット

チケットお申込みフォーム

<https://form.run/@fukeiwokiku>



注意事項とお願い

- 普段、非公開の多久聖廟内部を開放して行われるイベントです。
- 会場内では靴を脱いで、胡床 (椅子) に座っての鑑賞となります。
- 空調設備のない空間ですので、暖かい服装でご参加ください。
- 公演中止など、主催者がやむ得ないと判断する場合以外の払い戻しは致しません。

お問い合わせ

info@shikiori.net

アクセス

電車 / JR 唐津線 多久駅下車 タクシー約 10 分

お車 / 佐賀空港より国道 444 号 県道 48 号線を経て
国道 203 号へ

及び長崎自動車道にて多久 IC より約 20 分

